

## 温室効果ガス等排出状況

## 1 東京都の温室効果ガス排出量

区 分	排出量 (千t-CO2)				2011年度値の 伸び率 (%)	
	基準年度	2000年度	2010年度	2011年度	基準年度 比	2000年度 比
産業部門	9,840	6,800	4,910	4,580	-53	-33
業務部門	15,700	18,930	20,110	17,900	14	-5
家庭部門	13,000	14,330	15,610	14,770	14	3
運輸部門	14,830	17,640	11,810	11,580	-22	-34
エネルギー起源 CO2計	53,370	57,700	52,440	48,830	-9	-15
非エネルギー起源 CO2	1,020	1,190	1,550	1,560	53	31
その他5ガス	3,420	2,950	3,170	3,390	-1	15
<b>温室効果ガス 合 計</b>	<b>57,810</b>	<b>61,830</b>	<b>57,160</b>	<b>53,770</b>	<b>-7</b>	<b>-13</b>

「都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査（2011（平成23）年度実績）（2013〔平成25〕年3月東京都環境局）による

## 2 中央区の温室効果ガス排出量

区 分	排出量 (千t-CO2)				2011年度値の 伸び率 (%)	
	基準年度	2000年度	2010年度	2011年度	基準年度 比	2000年度 比
産業部門	168	89	111	70	-58	-21
業務部門	1,176	1,151	1,461	1,493	27	30
家庭部門	126	140	222	252	100	80
運輸部門	407	456	310	319	-22	-30
エネルギー起源 CO2計	1,877	1,836	2,104	2,134	14	16
非エネルギー起源 CO2	24	17	45	44	83	159
その他5ガス	34	49	118	129	279	163
<b>温室効果ガス 合 計</b>	<b>1,935</b>	<b>1,901</b>	<b>2,266</b>	<b>2,308</b>	<b>19</b>	<b>21</b>

「特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2011年度）」  
（2014〔平成26〕年3月財団法人特別区協議会・財団法人市町村自治調査会）による

※端数処理を行っているため、表の計が一致しない箇所があります。

### 3 特別区の二酸化炭素排出量

区 名	排出量 (千t-CO2)				2011年度値の 伸び率 (%)	
	基準年度	2000年度	2010年度	2011年度	基準年度 比	2000年度 比
千代田区	2,758	2,667	2,828	2,874	4	8
<b>中央区</b>	<b>1,901</b>	<b>1,852</b>	<b>2,149</b>	<b>2,178</b>	<b>15</b>	<b>18</b>
港区	2,970	3,307	3,816	3,966	34	20
新宿区	2,464	2,700	2,823	2,935	19	9
文京区	924	1,051	1,110	1,185	28	13
台東区	1,150	1,139	1,106	1,147	0	1
墨田区	1,257	1,232	1,147	1,213	-4	-2
江東区	2,164	2,225	2,840	3,049	41	37
品川区	1,653	1,892	2,076	2,215	34	17
目黒区	986	1,092	1,087	1,118	13	2
大田区	2,869	3,056	2,935	3,153	10	3
世田谷区	2,522	2,829	2,840	2,964	18	5
渋谷区	1,647	1,943	2,130	2,233	36	15
中野区	835	902	954	980	17	9
杉並区	1,492	1,654	1,623	1,682	13	2
豊島区	1,332	1,416	1,476	1,557	17	10
北区	1,129	1,107	1,097	1,142	1	3
荒川区	676	687	659	691	2	1
板橋区	2,201	2,222	2,025	2,129	-3	-4
練馬区	1,714	1,971	1,959	2,046	19	4
足立区	2,659	2,484	2,317	2,423	-9	-2
葛飾区	1,712	1,746	1,446	1,524	-11	-13
江戸川区	2,246	2,472	2,242	2,338	4	-5
特別区計	41,263	43,646	44,685	46,740	13	7

「特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2011年度）」  
 （2014〔平成26〕年3月財団法人特別区協議会・財団法人市町村自治調査会）による

### 4 中央区の二酸化炭素排出量

区 分	排出量 (千t-CO2)				2011年度値の 伸び率 (%)	
	基準年度	2000年度	2010年度	2011年度	基準年度 比	2000年度 比
建設業	73	28	96	41	-44	46
製造業	95	61	15	29	-69	-52
産業部門	168	89	111	70	-58	-21
家庭	126	140	222	252	100	80
業務	1,176	1,151	1,461	1,493	27	30
民生部門	1,302	1,291	1,683	1,745	34	35
自動車	371	424	271	274	-26	-35
鉄道	36	32	38	44	22	38
運輸部門	407	456	310	319	-22	-30
廃棄物部門	24	17	45	44	83	159
二酸化炭素合計	1,901	1,852	2,149	2,178	15	18

「特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2011年度）」  
 （2014〔平成26〕年3月財団法人特別区協議会・財団法人市町村自治調査会）による

※端数処理を行っているため、表の計が一致しない箇所があります。

環境行動計画の目標      2020（平成32）年までに2000（平成12）年比25%の二酸化炭素排出削減  
 当面の目標                2012（平成24）年までに1990（平成2）年比5%の二酸化炭素排出削減